

pray for peace



組合員とともに「パルシステム東京平和政策」に基づいた平和活動を推奨します。
 ・ 平和な共生の世界をめざします。
 ・ 次世代が希望を持てる環境をつくります。
 ・ 一人ひとりが尊重され、いのちを大切に作る社会をめざします。



ごあいさつ 生活協同組合パルシステム東京 理事長 西村陽子

平和への祈り、そして希望ある未来へ



2025年、戦後・被ばくから80年という節目の年を迎えました。この間、私たちは平和への祈りと願いを胸に歩み続けてきました。しかし今、世界各地で続く紛争、深刻化する気候変動、急速なデジタル化の中で、人と人とのつながりの大切さが改めて問われています。国内でも物価高騰や少子高齢化により、多くの方が将来への不安を抱えているのが現実です。このような時代だからこそ、真の平和とは何かを問い直したいと思います。それは単に争いがなく、すべての人が尊厳を持って生きられる社会を築くことではないでしょうか。パルシステム東京では、組合員の皆さんと共に、日々の暮らしから平和の種を蒔き続けてきました。これからも心を寄せ合い、次世代に向けた希望ある平和な未来とともに築いていきたいと願っています。一人ひとりの小さな行動が、やがて大きな平和の輪となり、笑顔がひろがることを信じて。

平和カンパ

一口200円からできる平和募金

詳細はこちら▶



2025ピースフェス

<2025.5.31(土)開催>ピースフェス2025
 ~「平和カンパ」に私たちの想いを寄せて~

一人ひとりの協力で私たち平和の取り組みが続いています。

厳しい状況下で懸命に生きる海外の子どもたちを支援するため、一口200円からの募金を呼びかけました。皆様から寄せられた世界平和への願いは総額1,363万4,251円となり、国際協力NGO等7団体のプロジェクト（医療、教育、栄養改善など）へ贈呈いたしました。一人ひとりのご協力が、平和への取り組みを支える大きな力となっています。

2025年度実績

贈呈先（国際協力NGO団体）	プロジェクト名	贈呈額
ベシャワール会	命の水を待ち望む子どもたちへ（アフガニスタン）	199万4,126円
JIM-NET	小児ガン・白血病などの治療を受ける子どもたちへ（イラク）	149万1,638円
シャンティ国際ボランティア会	学びの場を待ち望む子どもたちへ（タイ国境 難民キャンプ）	175万9,820円
チェルノブイリ子ども基金	小児ガンなどの治療を受ける子どもたちへ	143万6,838円
AARJapan【難民を助ける会】	学びの場を待ち望む障がいのある子どもたちへ（カンボジア）	153万571円
パレスチナ子どものキャンペーン	爆撃で破壊されたガザ地区の子どもたちへ（パレスチナ・ガザ地区）	392万5,950円
シェア=国際保健協力市民の会	栄養改善が最も必要な子どもたちへ（カンボジア）	149万5,308円
合 計		1,363万4,251円



セイン・カミュ氏が語るボランティア



詳細はこちら▶



ボランティア体験



ガザの人々への寄せ書き

書き損じはがき等回収キャンペーン

2025年2月～5月にかけて実施した、家庭に眠る不用品を寄付する国際協力活動「書き損じはがき等回収キャンペーン」寄付品の換金で得られた資金は、児童労働に従事する子どもたちや飢餓に苦しむ人々の支援に充てられます。

2025年度実績

国際協力NGO3団体名	団体紹介	換金額
ハンガー・フリー・ワールド	バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ウガンダで飢餓に苦しむ人々を支援する国際協力NGOです。	390万9,901円
シャブラニール=市民による海外協力の会	ネパールやバングラデシュで、児童労働の削減、災害に強い地域づくりなどの活動を進めています。	368万7,186円
日本国際ボランティアセンター（JVC）	スーダンの子どもたちへの教育支援や、ラオス農村部での共有資源管理サポートなど世界6の国・地域での活動しています。	383万3,614円
合 計		1,143万701円

3団体の国際協力NGOと協力！

パルシステム東京では、毎年「書き損じはがき等回収キャンペーン」を実施し、国際協力NGOなどの支援団体へ寄付する活動を行っています。



パルシステム東京では、専用封筒を利用して注文時に提出できるほか、郵便局での交換や直接送付といった方法でも手軽に社会貢献へ活用できます。

エコ&ピースナビゲーター



戦後・被ばくから80年という大きな節目を迎えた2025年度はこれまでの歩みを振り返り、未来へと希望をつなぐための様々な平和特集をおこないました。



Vol.47



Vol.48



Vol.49



毎年不定期に組合員へ 配付している「エコ&ピースナビゲーター」

「エコ&ピースナビゲーター」では、地球環境保全、平和活動、国際連帯、復興支援などの社会活動を組合員に向けて紹介する情報誌です。

バックナンバー▶



- Vol.47 沖縄戦の記憶を後世に伝えるために
- Vol.48 <平和特別号>身近な施設を紹介
- Vol.49 2025年度「平和カンパ」実績報告



被爆・戦後80年の取り組み 平和スタディーツアー

原爆投下から80年となる2025年、戦争の歴史を学び記憶を風化させないために、原爆投下日に合わせて広島・長崎を訪問する「ピースアクション」に参加しました。「次の世代への継承」をテーマにした今回のツアーでは、奪われた一人ひとりの日常や家族の物語に触れ、記憶と平和への願いを深く心に刻み込みました。また、平和祈念式典には参加者の子どもたちが中心となって参列し、「実際に参加できてよかった。忘れない時間になった」という感想を寄せてくれました。平和への想いを未来へつなぐ、大切な節目となる訪問となりました。

ヒロシマ 8月4日～8月6日 80年の時を超え、受け継がれる祈り



ナガサキ 8月8日～8月10日

それぞれの地へ折り鶴を



オキナワ 2026年3月25日～3月27日

第43回沖縄戦跡・基地めぐり



魂魄（こんぱく）の塔へ献花

現地ガイドからは、激しい地上戦に巻き込まれた市民の状況や、戦後どのように基地が作られていったのか、地域ごとに異なる被害の実態が語られました。ひめゆり平和祈念資料館や対馬丸記念館では、自分たちと同年代の若者や子どもたちが犠牲になった悲劇を学び、「平和とは何か」を深く考える機会となりました。

パルシステム東京組合員による委員会主催の 「平和の取り組み」

3委員会紹介

平和の種まき委員会

連携企画・映画『タリナイ』上映会でマーシャル諸島に残る戦争の爪痕をたどり、痛みを共有。『拝啓住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと』上映会&監督トークでは、石垣島・西南諸島の軍事基地化の現状を自分たちの課題として見つめ直しました。

ほっこり・ゆったり委員会

都立第五福竜丸展示館を見学。水爆実験の犠牲の歴史と、その保存に尽力した市民運動の歩みに触れ、草の根の連帯が持つ「希望」を再確認しました。

ピースクラフト委員会

切手の仕分け体験を通じてアフリカの現状を学習。また「ピースニットカフェ」を開催し、寄贈用のひざ掛け作りを通じて、手仕事による支援の輪を広げました。



【被爆・戦後80年シリーズ企画】 未来へつなぐ平和のバトン～次世代と考える戦後80年～

夏休み！家族で考える戦後80年～ノーベル平和賞までの道のり～

7月26日

今回のシリーズ企画では、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協代表委員・箕牧氏による被爆体験のご講演や、現地の広島で平和ガイドを務める多賀氏のお話をはじめ、映画『戦雲』の上映会、東京下町戦跡めぐりといった一連のプログラムを実施しました。戦争の悲惨さと平和の尊さを多角的に学び合うことで、戦後80年の節目の年をそれぞれが改めて考える貴重な機会となりました。



箕牧智之氏（日本被団協代表委員）



多賀俊介氏（現地広島ガイド）



映画『戦雲（いくさふむ）』上映会

2026年2月7日



ピースアクションinオキナワの事前学習会として (C) 2024 『戦雲』製作委員会

基地の島・沖縄の現実を描いたドキュメンタリー映画『戦雲（いくさふむ）』の上映学習会をパルシステム東京本部にて開催しました。

第1部 東京下町戦跡めぐり

2026年2月28日

東京大空襲から81年の節目を迎え、改めて惨禍の記憶を語り継ぐべく、東京大空襲・戦災資料センターにご協力いただき、江東区住吉・扇橋エリアの戦跡フィールドワークと、同センターの吉田裕館長による基調講演を開催しました。



東京大空襲・戦災資料センター 工藤 秀弘 副館長



第2部 吉田 裕館長による基調講演 東京大空襲から加害の問題を考える

戦災資料センター内を見学中の参加者



東京大空襲・戦災資料センター 吉田 裕 館長



パルシステム東京平和活動レポート2025年度

憲法学習会（憲法カフェ）

私たちの生活や、平和、人権と憲法の関係について学び考える憲法学習会。2025年度は「NO憲法NO LIFE」、「タイムラインのその先へ。前泊教授と読み解く『日本のリアル』」をテーマに2回開催しました。

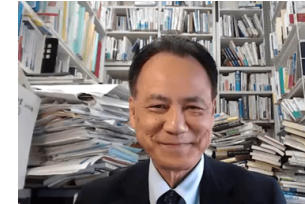
第1回開催 2025年9月20日



労働問題や女性問題に取り組む弁護士ユニット「四谷姉妹」をお招きし、憲法カフェ「NO憲法 NO LIFE」を開催。

（左：岸松江弁護士、右：青龍美和子弁護士）

第2回開催 2026年2月7日



沖縄国際大学の前泊博盛教授をオンラインでお招きし、憲法学習会「タイムラインのその先へ」を開催しました。沖縄の現状と民主主義の課題について学びを深めました。





2025年度 主な平和活動



開催日	企画名・内容	参加人数 (内訳：組合員参加)
2025年2月～5月	国際協力NGO3団体の「書き損じハガキ等回収キャンペーン」を実施 ハンガー・フリー・ワールド シャプラニール・市民による海外協力の会 日本国際ボランティアセンター (JVC)	合計寄付件数4,921件 換金額1,143万701円
4月12日	「2025ピースアクションinTOKYO&ピースパレード」 「つないでつないで東京から平和を」スローガンのもと、広島・長崎両市長の平和メッセージから始まり日本被団協のノーベル賞受賞報告、綿平敬三氏による被爆証言、参加団体によるリレートークで平和の思いを共有されました。	全体参加108人 (内：組合員15人)
5月31日	「ピースフェス2025」～「平和カンパ」に私たちの想いを寄せて～ 基調講演ではタレントのセイン・カミュ氏をお呼びして海外難民支援のボランティア経験や障がい者支援について語っていただきました。	会場参加57人 オンライン19人
6月23日～8月1日	【平和カンパ】組合員から寄せられたカンパ 総額13,634,251円を国際協力NGO等7団体に贈呈	寄付総額13,634,251円
7月26日	夏休み！家族で考える戦後80年～ノーベル平和賞受賞までの道のり～ ノーベル平和賞を受賞した日本被団協代表委員の箕牧氏の戦争・被爆体験のお話とともに、現地広島で平和ガイドを行っている多賀氏のお話を聞くことで、戦後80年の節目の年をそれぞれが改めて考える機会となりました。	会場参加8人 オンライン120人
8月4日～6日	ピースアクションinヒロシマ (ヒロシマ平和スタディツアー) 原爆投下日に合わせて開催されるピースアクションinヒロシマに参加しました。	組合員10人 理事1人 職員3人
8月8日～10日	ピースアクションinナガサキ (ナガサキ平和スタディツアー) 原爆投下日に合わせて開催されるピースアクションinナガサキに参加しました。	組合員7人 理事2人 職員3人
9月20日	憲法カフェ第1弾「NO憲法 NO LIFE」 労働問題や女性問題に取り組む弁護士ユニット『四谷姉妹』をお招きし、人権や平和、ジェンダー平等など、憲法が私たちの暮らしにいかに身近で大切なものかを、憲法漫才やクイズ、歌を交えながらわかりやすく解説いただきました。	会場参加20人 オンライン34人
11月28日	Night Peace Cafe 大好評！多文化共生大久保街歩き Part2 人種のるつぼ「大久保」に住むライターの室橋裕和氏をガイドにお迎えして、多文化共生について学びました。	参加人数17人
2026年2月7日	【ピースアクションinオキナワ事前学習会】映画『戦雲 (いくさふむ)』上映会 3月に開催されるピースアクションinオキナワツアーへの理解を深める事前学習会として、基地の島・沖縄の現実を描いたドキュメンタリー映画『戦雲 (いくさふむ)』の上映学習会を実施しました。	参加人数48人
2月7日	憲法カフェ第2弾「タイムラインのその先へ。前泊教授と読み解く『日本のリアル』」 沖縄国際大学の前泊博盛教授をお招きし、沖縄の現状と民主主義の課題について学びを深めました。	会場参加9人 オンライン16人
2月27日	Night Peace Cafe Vol.8 「戦闘から3年 パレスチナの人々の暮らしと心の傷」 パレスチナ子どものキャンペーン様をお呼びして、パレスチナの現状についてお話していただきました。	参加人数17人
2月28日	「東京下町戦跡めぐり～東京大空襲から加害の問題を考える」戦跡フィールドワーク 東京大空襲・戦災資料センターにご協力いただき、江東区住吉・扇橋エリアの戦跡フィールドワークと、同センターの吉田裕館長による基調講演を開催しました。	会場参加18人 オンライン12人 (基調講演のみ)
3月25日～3月27日	「2025年ピースアクションinオキナワ第43回沖縄戦跡・基地めぐり」 沖縄戦の実相と現在の沖縄が抱える基地問題を学び平和について考える機会となりました。	組合員10人 職員2人

深化し続ける **パルシステム東京はこれからも多様な参加形態を模索しながら平和への関心を広めてまいります。**

Night Peace Cafe

<2025.11.28(金)開催>Night Peace Cafe 大好評！多文化共生大久保街歩き Part2

何気ない日常に気づきを与える
「Night Peace Cafe」は
平日の夜に開催されます
今年初めて開催する「Night
Peace Cafe」は、多文化共生をコ
ンセプトに人種のるつぼである大
久保界隈の街を歩きました。



Night Peace Cafe Vol.8

<2026年2月27日(金)開催>

詳細はこちら>



Night Peace Cafe Vol.8
「戦闘から3年 パレスチナの人々の暮らしと心の傷」を開催しました。パレスチナ子どものキャンペーンをお呼びして、パレスチナの現状について現地の動画をわかりやすくお話していただきました。